

ちえふくろ



〒108-0014 東京都港区芝 5-27-5

NPO 法人 トータルライフサポート

TEL 03-3453-6210

FAX 03-3453-6208

【Kさんの決断】

Kさんの老人ホーム入所手続きの日、お迎えの時間にご自宅に伺うとKさんはしっかりと外出の格好をして私を待っていました。玄関のところで「三国さん、ちょっとお話があるのですがよろしいでしょうか？」と真剣な表情をされています。お部屋に上がり、椅子に座るとKさんがゆっくりと話し始めました。

「私、昨日一生懸命考えたんです。このままホームに入ってよいのか、一晩考えたんです。亡くなった主人にも『あなたどう思う？』と相談したりして・・・」

「お金も振り込んで、ホームに入る支度も進めてきたけれど、私ここを離れるのが寂しくなってしまうって、考えていたら泣きたくなってしまうって・・・」「三国さんが来たら相談しようと思って待っていたんです」「三国さん、どう思いますか？」と。

「私最近、調子が良くて、杖も使わないで歩けるようになったし、あっちに行ったらダメになってしまうように思うのです」「私は自由が欲しいのですから・・・三国さんどう思いますか？」と。

私は少しびっくりしましたが、直ぐに「いいと思いますよ。Kさんが一番安心できる、一番居心地が良い場所で暮らすのが良いと思いますよ」とお応えしました。

「ホームに行っても、ここにいっても三国さんをお願いすることはできるんですよ」と何回も言われました。

Kさんは、1月に老人ホームと契約をし、1,000万円近い入居一時金の振り込みを済ませ、主治医からの診断書も提出しました。

この日はケアマネのOさんと同行し、ホームの相談員さんに申し送りをする予定でした。姉妹や甥にも、入所することを伝え、すべての準備が整っていました。その状況で、「やっぱり止めたい」とお話しされたことはKさんにとって、とても勇気のいることだったと思います。

私はその時に思いました。まさに私はこの時のためにいるのだと。これが私の役割なのだ。ケアマネのOさん、老人ホームの紹介とコーディネートをしていただいたAさんに事情を説明し、老人ホームの副施設長のBさんに連絡をしました。一通り連絡を終えたことをKさんにお伝えすると、ホッとした様子でいらっしゃいました。

私たちはおひとりさまのサポートをさせていただいていますが、私たちの役割はご本人がご自分の思いを言いやすい「環境」を作ること。そしてその希望を何とかして叶えることだと思います。

Kさんは来月「やっぱりホームに入居したい」と言われるかもしれません。一瞬一瞬、気持ちが変わることがあると思います。でもそれでよいのだと私は思います。今までもずっと遠慮をされ、自分を抑えてこられたのだと思います。これからは自分に正直に、わがままに、ご自分の人生を謳歌していただきたいと思います。三国浩晃